

P-②-3

黒酢濃縮粉末及び黒酢もろみ粉末を含有する食品の 体脂肪低減効果検討試験

Effects of food contained concentrated Kurozu powder and Kurozu unrefined mash powder
on body fat-lowering

○濱舘 直史¹⁾、中村 健一郎¹⁾、山本 哲郎²⁾、矢澤 一良³⁾

1) 株式会社えがお 研究開発部、2) 株式会社TTC、
3) 東京海洋大学「食の安全と機能（ヘルスフード科学）に関する研究」プロジェクト

We investigated the effects of foodstuff contained concentrated Kurozu powder (CKP) and Kurozu unrefined mash powder (KUMP) on body fat-lowering. Fifty-two slightly obese subjects were assigned randomly to 2 groups (active group and placebo group). Foodstuff contained CKP and KUMP or the placebo was administrated to the subjects for 12 weeks with 10 min exercise a day. In the female, tendency to suppress of the visceral fat increase was observed. Furthermore, increase of body weight was significantly inhibited. These findings suggest that the foodstuff contained CKP and KUMP may suppress the increase of body fat.

【目的】

黒酢濃縮粉末及び黒酢もろみ粉末を含有する食品による体脂肪低減効果を二重盲検臨床試験によって検証した。

【方法】

被験者は、内臓脂肪量が比較的多い男女 52 名を無作為に 2 群に割付し、黒酢濃縮粉末及び黒酢もろみ粉末を含有する食品 (A 群) またはプラセボ (P 群) を 12 週間摂取させると共に毎日 10 分程度のダンベル運動を付加した。測定項目は、1) 腹部 CT スキャン：内臓脂肪面積、皮下脂肪面積、総脂肪面積 2) 身体測定：身長・体重・BMI・ウエスト径・ヒップ径・体脂肪率 (インピーダンス法) 3) 問診・理学検査・空腹時臨床検査：体調の確認、血圧、脈拍数、血液・尿検査。

【結果】

1) 女性の内臓脂肪面積において P 群と比較して A 群に増加抑制傾向が認められた。皮下脂肪・総脂肪においては有意な増加抑制が認められた。2) 体重・BMI においては有意な増加抑制が認められた。3) 臨床上問題となる変動は認められなかった。

【結論】

以上の結果より、黒酢濃縮粉末及び黒酢もろみ粉末含有食品は、軽度な運動と共に摂取することによって、体脂肪低減効果を有することが示唆された。また、黒酢濃縮粉末及び黒酢もろみ粉末含有食品の安全性に問題はないと考えられた。